

郭教授の講演に拍手する参加者＝24日、仙台市



宮城「ネット」を結成

戦争法廃止の一点で共闘

320人を超す参加
超党派あいさつ

宮城県で幅広い団体・個人

が戦争法廃止の一点で共闘する、「安保法制廃止みやぎネット」の結成集会が24日、仙台市で開かれ、320人を超す県民が参加しました。

呼びかけ人を代表して後藤東陽氏があいさつし、事務局が経過や目的・活動を報告。反対運動の結集のため、各運動や分野の32人が呼びかけ人となり、2000万署名の推進や、参院選で安保法制廃止の意思を国政に反映させるなどの活動内容を提起し、拍手で確認しました。

仙台弁護士会の北見淑之副会長や日本共産党の中島康博

県委員長、民主党の郡和子県連幹事長、社民党の岸田清実県連合幹事長が連帯のあいさつをしました。

日本共産党の中島氏は、2000万署名に全力で取り組む決意を語り、選挙協力に向けた真剣な協議を各党に呼びかけました。郡氏は、安保法制の廃止を目指してたたかうと訴えました。

安保関連法に反対する被災三県大学教員有志の会の郭基煥東北学院大学教授が「命の責任―絆から連帯へ」と題して講演し、シールズ東北や安保関連法に反対するママの会、大崎九条の会連絡会、オール宮城の会、「女の平和」ピースアクションみやぎが決意を語りました。